



妖怪おんまのこ

だつて

エ  
ツ  
チが  
したい!









ズ  
ズ  
ズ  
ズ

幻想郷は人と妖怪の  
バランスが大事であり  
滅多なことでは  
襲われないが……

夜間の無用心を  
許すほど  
寛大でもなく

埋葬される骨が残れば  
運の良い方だったと  
言えるだろう

夜間の外出は  
控えようって  
教訓だね



そーなのかー

そんな感じでき  
まあ妖怪からすると  
人間を襲うのが  
生業らしい…のよ



け…けど妖怪  
だからって  
これ…は…ッ



き…君みたい  
小さい子がなんで  
こんな事を…？





あっはい

は？

そんなコト  
あるわけない  
でしょー？



あ……  
もしかして

実は人間の精液が  
妖怪のエネルギー源  
とかいう……



出遭った時も  
言ったじゃない

人間が気分で  
生き物を飼ったり  
するのと同じ

私も今日は  
エッチの気分  
だっただけ♡



さっきのって  
そういう……

私を泊めるか  
ここで死ぬか  
どっちがいいー？

？

!?

もちろん  
食べて終わりでも  
よかったんだけどさ

妖怪相手に勃起して  
くれる人間なんて  
久しぶりだったし：

そんなの見たら  
欲しくなっても  
仕方ないよね♡

童女趣味の  
変態なだけかも  
しれないけどねー？

い...いや  
それは...っ





妖怪相手に  
見栄を張っても  
仕方ないよ？

ほら♡

うアっ!?



射精したばっかなのに  
もう元気になってる♡  
そんなに慌てなくても  
何回だって  
させてあげるからさ

キミの精巣が  
空っぽになるまで  
愉しませてね♡





は...あ...ツ♡

あーあ

あーあ

あーあ

ほら見える？

キミのが私の膣内に  
挿入しちゃっ...んあ...♡

丁度いいところで  
びったりハマって...

まだ挿入っただけなのに  
ゾクゾクしてるよ...♡

キミのちん○...  
私と相性イイ  
のかも...♡

い…いや確かに  
超興奮してるけど…ッ

膣内で凄く脈打って…  
キミの興奮が  
伝わってくるのかー♡

お互い気持ちいい方が  
よく濡れてあったかいし

キミも好きに  
動いていいんだよー♡

と…とにかん  
逃げる算段がしつまで  
射精は我慢して…

どうせ勃たなくなったら  
食べるんだらう…!!

好きに動いてたの  
あつと…つ間に食料だめー!





こんなの我慢できるわけ  
ないだろおおおッ



あ…激し…っ♡

それ好き…っ♡



はぁ  
はぁ



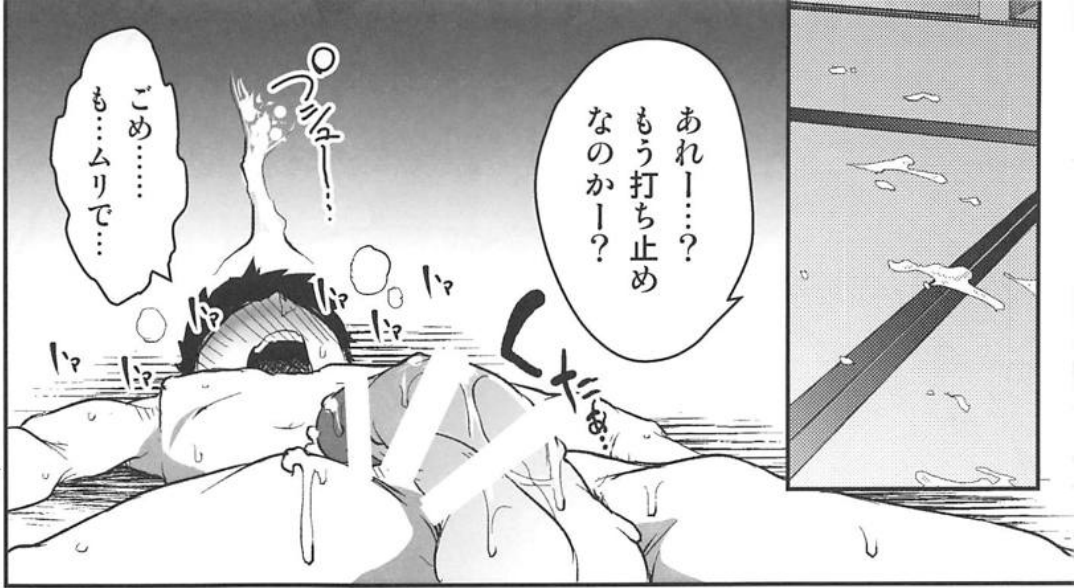
ひゃう!?

クソ…こうなったら  
腰が立たなくなるまで  
やって追いついてやる…!



せっかく  
愉しくなって  
きたのにな〜

…そだ



あれー…?  
もう打ち止め  
なのかー?

ごめ……  
も…ムリで…



…へ?

じゃあ  
これでどう?

あれ…なんか色々  
雰囲気が変わって…



ちょっと  
変化して  
みたのかー

変…ええっ!?



妖怪なんだから  
見た目を変える  
くらい簡単だよ？

弾幕ごっこじゃ  
役に立たないけど…

こういう時には  
すっごく便利なのかー♡

ほら  
元気になった♡

人間のちん〇って  
凄く単純だよねー

さっきと違う刺激が  
あればこうやって…



別に遠慮しなくて  
いいんじゃない?

挿れてくれるなら  
私はなんでもいいし



けどさつきより  
勃起具合が...

ってそいえば  
キミは童女趣味  
だったっけ?

い...いやだから  
それは.....っ



して欲しいなら  
こんな変化だって  
できるよー?

ほらほら♡

こんな小さい身体を  
味わえるなんて  
今だけなのか♡

う...くッ

ああ...もう  
どうにでもなれ!!





自由に姿を変えられる  
なんて反則だろ！

ああ…クソ！  
なんてキツくて締まる  
マ○コなんだ…！

あ…はッ♥

そんなにサカって  
やっぱり童女趣味  
じゃないか！♥



ね…この身体だと  
私から動けないし

そーやってキミから  
抱き締め…そお…♥

んあッ!?!♥



小さくなくても  
ちゃんとクリクリって  
主張してて可愛いなあ

んく…ッ♥  
ほんとに  
ヘンタイだあ…







おクチも…おしりも…ツ♥

おマ○ノも…♥



もじと…もじと♥



全部チン○で  
いっぱい  
掻き回してツツ♥









お腹いっぱい…  
なのかー…♡



キミとの夜は  
愉しかったからねー

骨になるまで愛玩動物として  
可愛がったげるから  
今後もよろしくなのかー♡

ああ…骨が残る  
だけマシって  
そっいう……



それじゃ  
また次の夜にね♡

もっごねー

はっ



チュン チュン

あれ…もう朝？  
じゃあ帰ろっかなー  
あんまり目立って  
巫女が煩いし

チキチキ…

た…助かった…？

## あとがき

はじめましてこんにちは、秋と申します。  
このたび、本誌を手にとって頂きありがとうございました。

すごく久しぶりにルーミア本です。  
つい先日、ツイッターで「秋さんのルーミア本が好きです！」  
なんて声を掛けて頂きまして。

なんでそんな懐かしい本知ってるんすか〜！と嬉し恥ずかし思ってたら  
丁度、想七日7の申し込み日付近だったので、良い機会かなと！

バカルテットなルーミアで描こうかと思ってたけど、  
久しぶりに東方紅魔郷してたら、原作のルーミアやっぱ頭いいよなあとか  
思ったり。気が付いたらバカになりきれない子になってしまった。

頭良くてもアホでも◎でも  
ロリもおっぱいもEXなルーミアも皆美味しく頂きてえよなあ!?(‘3’)

さてはて、いつもいつでも締切当日にあとがきを描いている有様。  
そんなわけで今回もこの辺で。

またいずこかで〜〜〜(‘3’)ノ

2019.7 秋



『妖怪だってエッチがしたい!』  
2019年7月7日発行(東方想七日7)

原作 東方Project(上海アリス幻楽団) 様  
印刷 株式会社 栄光 様  
発行者 秋  
サークル 秋風アスパラガス  
MAIL autumn0130@gmail.com  
pixiv 6723  
Twitter aki\_sun

※18歳未満の購入、閲覧、並びに本誌の無断転載を禁止致します。

妖怪だって  
エッチがしたい！

presented by  
秋風アスパラガス